

としょかん宇治

No. 75

2023年3月31日発行

宇治市中央図書館
〒611-0023 宇治市折居台1-1
0774 (39) 9256宇治市東宇治図書館
〒611-0011 宇治市五ヶ庄三番割36-5
0774 (39) 9182宇治市西宇治図書館
〒611-0042 宇治市小倉町山際63-1
西小倉地域福祉センター3階
0774 (39) 9226図書館ホームページ <https://www.city.uji.kyoto.jp/site/uji-publiclibrary/>
LINE ID @276kaa9y

もっと便利に、より快適に使える図書館へ

第2次宇治市図書館事業計画を策定しました

人口減少やAIの急速な進化、新型コロナウイルス感染症の影響など大きく変化を続ける現代社会。不確かな時代を生き抜くには、一人ひとりが情報を集め、幅広く専門的な知識に基づき判断や決定をする力が必要です。

こうした社会の変化や利用者ニーズに応えるため、宇治市図書館では「非来館型サービスの充実」「図書館のICT化」「安全・安心な図書館づくり」「障害者サービスの充実」「図書館利用の促進」の5つを軸に、新たな事業計画を策定しました。

今号では事業計画をもとに、宇治市図書館が目指す姿を紹介します。

01 非来館型サービスの充実

出張型のイベント

来館しなくても幅広い世代が図書館サービスを利用できるように、幼稚園や青少年センター、子育て支援施設や高齢者サロン等出張おはなし会などを行っています。

また、国立国会図書館関西館の見学ツアーや宇治のまちなみをめぐる企画など、館外へ出て行うイベントを実施しています。令和4年5月には、「宇治の魅力探訪ツアー」と題して中宇治地域のお地蔵さん15体を巡り、由来などを学びました。

今後は、成人向けの出張読書会など、学生や社会人が参加しやすい出張型のイベントの充実を図ります。



予約図書配本所・館外返却ポストの増設

身近な施設や便利な場所で、図書館の本を貸出・返却できる予約図書配本所を設けています。予約図書配本所では、事前に予約した図書館の本や雑誌の貸出や返却をすることができます。令和5年3月24日には、アクトパル宇治に7か所目の予約図書配本所をオープンしました。

また、市役所や各配本所に図書館の本を返却できる館外返却ポストを設置しています。「本を読みたいけど、図書館は遠くてなかなか行けない…」「図書館に行く時間がない」という方は、ぜひ予約図書配本サービスや館外返却ポストをご利用ください。

自宅などで学べるサービスの検討

オンラインなどを活用し、来館せずに文学・歴史などを学べるサービスも検討していきます。

02 図書館のICT化

電子図書館学校連携事業

令和4年7月から、市内の公立小中学校に在学する小学校3年生以上の児童・生徒に電子図書館専用IDカードを配付しました。また、電子図書館にキッズ&ティーンズコーナーを新設し、よみものやちしきの本などを充実させました。その結果、7・8月の電子図書館の貸出点数が前年比約15倍となり、現在も多くの子どもたちに利用されています。

今後も児童・生徒向けの電子書籍の充実を図ります。



国立国会図書館デジタル資料閲覧サービス

国立国会図書館が所蔵する432万点余りのデジタル化資料のうち、インターネットに公開されておらず絶版等の理由で入手が困難な資料を、館内のパソコンから検索・閲覧できるサービスの導入を検討します。

ICTによる利用しやすい環境の整備

スマートフォンやタブレットに図書貸出券を表示することで本が借りられるサービスの導入を進めます。また、館内Wi-Fi環境やマルチメディアコーナーの整備を検討し、紙媒体とデジタル資料の両方を活用できる「ハイブリッド図書館」を目指します。

03 安全・安心な図書館づくり

快適に過ごせる空間づくり

限られたスペースを有効活用し、快適な時間を過ごせる安全・安心な空間づくりや利用者が親しみやすい雰囲気づくりに努めます。また、アフターコロナの過ごし方を見据え、イベントの開催方法を見直し、より安心して参加していただけるようにしていきます。

04 障害者サービスの充実



視覚障害者専用電子図書館

令和4年6月から開始した「視覚障害者専用電子図書館サービス」(アクセシブルライブラリー)では、スマートフォンやタブレットなどの音声読み上げ機能を使って、小説や趣味の本など15,000点以上の電子書籍をオンラインで利用することができます。

◀視覚障害者を対象にスマートフォンの使い方教室も開催しました

障害に応じた資料の収集

大きな文字で読める大活字本の収集・貸出をしています。成人書と児童書があり、障害の有無にかかわらず楽しむことができます。

また、やさしい文章、イラスト、写真、ピクトグラムなどを用いた視覚的に分かりやすいLLブックや、字幕付きDVDの収集を進めます。

05 図書館利用の促進

ブックリストの作成

0歳から2歳児向けのファーストブックリストに加えて、主に3歳から5歳児に向けたセカンドブックリストや中高生向けのブックリストを作成しています。今後もテーマに応じたブックリストを作成し、読書活動を支援していきます。

夜間イベントの実施

作家や季節などをテーマにした朗読会を、社会人や学生が参加しやすい夜間時間帯に開催しています。今後は、様々な年齢層を対象にした読書会や図書館見学など、夜間の企画・イベントの充実を図ります。

雑誌スポンサーによる雑誌の充実

事業者などが図書館で購入する雑誌のスポンサーになる制度を検討し、雑誌の充実を図ります。

宇治に関する情報の提供・発信

宇治の歴史や文化・産業などに関する資料をまとめた宇治コーナーを設置します。また、本市の小中学校の特色ある教育活動である「宇治学」の学習推進のため、関連する資料を分かりやすく配架します。

多言語・やさしい日本語による案内

外国語を母語とする方や読解の難しい方のために、図書館ホームページの多言語化や、やさしい日本語による利用案内の作成を検討し、誰もが使いやすい図書館づくりを進めます。

祝 東宇治図書館開館30周年、西宇治図書館開館25周年



平成4年11月に東宇治コミュニティセンターの1階に開設された東宇治図書館は、令和4年11月に開館30周年を迎えました。

それを記念して11月9日に講演会「東宇治ちよつと散策」を開催しました。東宇治地域の地名にまつわる歴史や地域を彩る文化財についての講演は、大変好評でした。今後も地域の皆さんに親しまれる図書館づくりを目指します。



平成9年6月に西小倉地域福祉センター3階に開設された西宇治図書館は、令和4年6月に開館25周年を迎えました。

6月9日には、巨椋池があった頃の人々の暮らしについての講演会「巨椋池—そして、干拓は行われた—」を行い、古に想いを馳せました。

今後も様々な場面で気軽に利用できる図書館をつくっていきます。



修理にかける情熱 「本の修理ボランティア」

宇治市図書館で借りられる本は年間およそ60万点。そのうちページのはずれや破れなど、傷んでいる本が毎週150～200冊ほど返却されます。

そんな本を修理するのが図書館サークル「本の修理ボランティア」の皆さん。傷んだ本を丁寧に修復し、借りる人が気持ちよく読むことができるようにしています。

本の修理ボランティアは20年以上にわたり図書館を支えており、他市町へそのノウハウを教えに行くほど、熟練された技術が受け継がれています。

会員の皆さんは都合のよい日に自由に参加し、和気あいあいとした雰囲気の中で修理をされています。いつでも体験できますので、ぜひ参加してみませんか。

見学・体験のお問い合わせは、中央図書館で受付しています。

- 活動日 毎週金曜日
午前10時～正午頃
- 活動場所 中央図書館集会室

編集後記

宇治ならではの歴史・文化、産業や地域行事など、様々な分野でご活用いただける図書館を目指しています。暮らしや学び、仕事の小さなことから図書館を使ってくださいね！